



にっしーアグリインフォメーション

にっしーアグリインフォメーションはJA兵庫西管内の担い手農家の皆様を対象として有益な営農情報を提供して参ります。

VOL.21
令和7年4月発行

JA兵庫西



発行元：JA兵庫西

令和6年度 農業振興支援策

JA兵庫西では、地域農業者の皆様へのご支援として以下の内容に取り組みました。令和7年度についても、引き続きご支援して参ります。

支援・助成事業		令和6年度実績(見込)
JA兵庫西農業振興支援事業		1,555万円
令和6年秋肥 肥料価格値上げ額対策		880万円
肥料農薬奨励(早期引取り・大口・担い手・ネット)		10,312万円
ライスセンター・育苗センター関係奨励		7,422万円
奨励内訳	ライスセンター出荷奨励(200円/30kg)	1,596万円
	ライスセンター大口奨励	1,860万円
	育苗センター大口利用奨励	1,336万円
	育苗センター利用奨励(水稻苗1箱50円の利用奨励)	2,417万円
契約栽培品種(水稻)ライスセンター利用奨励		213万円
その他(集落営農組織・生産部会活動費など)		820万円
合計		2億989万円

JA兵庫西農業振興支援事業

目的 地域農業の生産や環境の維持を図り、管内組合員から構成される集落営農組織や担い手を支持するため、農業経営に必要な農業機械並びに生産拡大に必要な資材等への支援を実施しています。

支援内訳

- 農機具……………1,340万円(51件)
- 農薬散布ドローン……………25万円(1件)
- ラジコン草刈機……………0万円(0件)
- パイプハウス・果樹棚……………75万円(5件)
- 鳥獣害柵……………115万円(18件)

合計 1,555万円(75件)

導入物件



令和6年秋肥 肥料価格値上げ額対策

目的 肥料の原料価格の上昇と円安の影響により、令和6年7月1日より多くの肥料が値上げとなりました。農家の経営を支援するため、JA兵庫西独自の支援を実施しました。

対象肥料 土壌改良資材など秋肥16品目

支援額 880万円(対象肥料の値上げ額の半額を支援いたしました)

支払条件 令和6年7月から令和6年11月の間に、対象肥料をご購入いただいた方

令和7年度 施設利用料金及び利用奨励について

1 令和7年度 施設利用料金

昨今の経済情勢により物価高騰が進む中、農業を取り巻く環境も非常に厳しい状況となっています。水稻・麦については引き続き農業者支援のため施設利用料金を昨年と同額とします。黒大豆の手選別料については、手選別作業の負担が増えており値上げとします。



■ ライスセンター利用料金(麦) (円/kg)

水分	20.0%以下	20.1~23.0%	23.1~27.0%	27.1~30.0%	30.1%以上
利用料金(税込)	19円	20円	21円	25円	32円

■ ライスセンター利用料金(水稻) (円/kg)

水分	18.0%以下	18.1~21.0%	21.1~24.0%	24.1~28.0%	28.1%以上
利用料金(税込)	20円	23円	25円	29円	31円

■ ライスセンター利用料金(豆類) (円/kg)

	白大豆(乾燥・調整選別)	小豆(乾燥・調整選別)	黒大豆(乾燥・調整選別)	黒大豆(脱穀料)	黒大豆(手選別料)
利用料金(税込)	21円	44円	44円	44円	110円

2 令和7年度 施設利用奨励

施設利用奨励も令和6年度と同額とします。

■ 育苗センター利用奨励

- 水稻苗の予約購入者に**1箱当たり50円**の利用奨励をします。
- 水稻苗500箱以上2,000箱未満の購入者に**1箱当たり54円**の利用奨励、さらに水稻苗2,000箱以上の購入者に**1箱当たり65円**の利用奨励をします。

■ 契約栽培品種(水稻)奨励

契約栽培品種(水稻)ライスセンター利用農家に**2円/荷受kg**の奨励をします。

■ 大口利用奨励(ライスセンター水稻及び麦)

- 20トン以上40トン未満の利用農家に**2円/荷受kg**の奨励をします。
- 40トン以上80トン未満の利用農家に**3円/荷受kg**の奨励をします。
- 80トン以上の利用農家に**4円/荷受kg**の奨励をします。

■ ライスセンター出荷奨励

- ライスセンター利用農家の出荷米に対して**1袋当たり200円**の利用奨励をします。

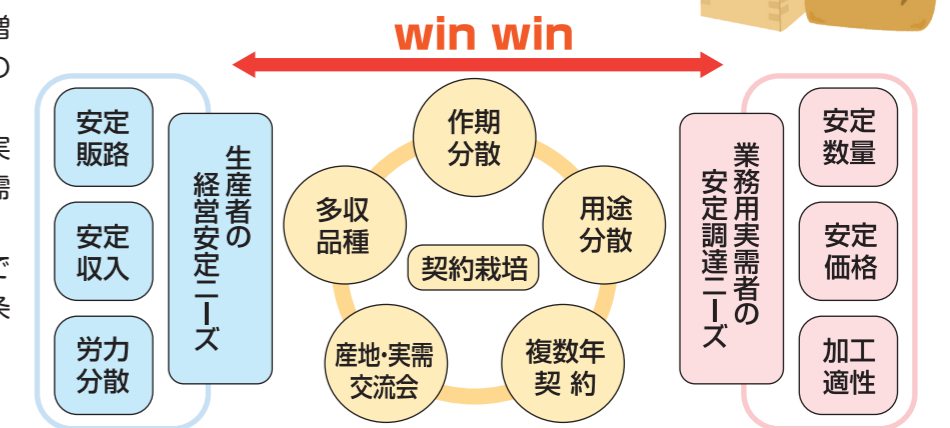
スシロー米「どんとこい」委託栽培契約

JAは、(株)あきんどスシローからの強い増産要請を受けて、スシロー米「どんとこい」の契約栽培面積を増やし、増産を図ります。

担い手生産者の皆様の安定した営農の実現に向けて、安定取引が見込める業務用実需者との契約栽培に取り組みます。

所得向上と持続可能な稲作経営が実現できる仕組みとして、以下の3点が専用米の条件となります。

1. 取組条件
2. 面積条件
3. 出荷条件



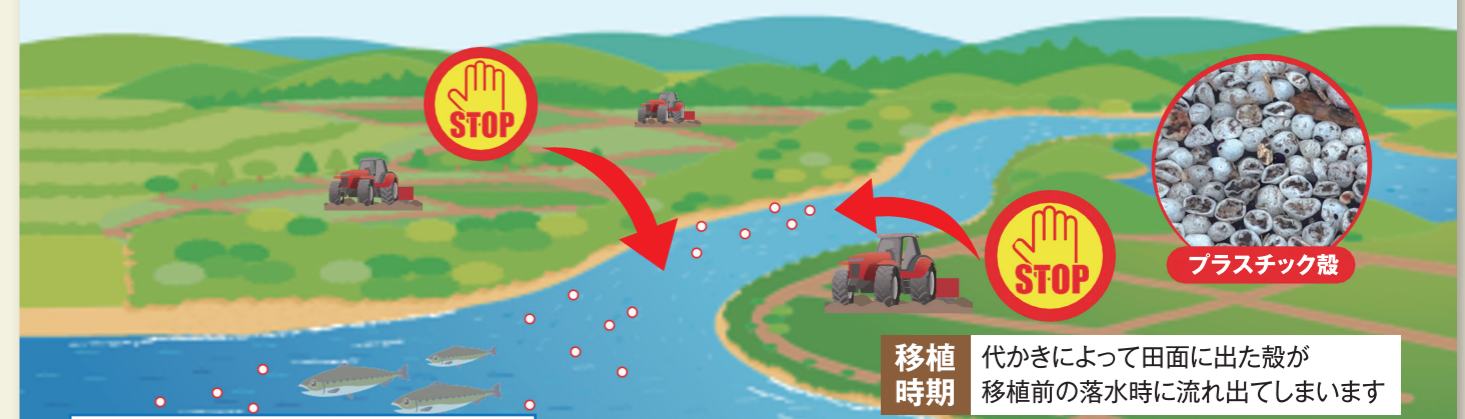
※詳細は、お近くの営農生活センターにお問い合わせください。

水稲用一発肥料にはプラスチックが使われています

水田から流出させない 対策をお願いします

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

被覆肥料のプラスチック殻は 水田から流出させないようにしましょう!



殻を流さないために



対策1 浅水代かき



対策2 捕集ネットの使用

製造メーカー・全農による共同研究・開発について

- 1 環境にも配慮するため、光や微生物の働きにより土壌中で崩壊・分解しやすくなるように各メーカーも工夫をしていますが、分解するまでにかなりの時間がかかります。
- 2 より速やかに分解させる技術の確立を目指し、メーカーと協力して研究開発に取り組んでいます。

箱剤と除草剤の

誤使用にご注意ください!!

苗箱に誤って「除草剤」を散布する事故が増えています。「箱剤」・「除草剤」の種類をご確認の上、ご使用ください。

箱 剤



除 草 剤



上記は取扱商品の一例です。

オススメ箱処理剤 ブーンアレス箱粒剤のご紹介

新規水稲箱処理剤

ブーンアレス 箱粒剤



新規殺虫成分配合でウンカやコブノメイガに強い!

ウンカ類や初期害虫、チョウ目害虫に卓効を示す新規成分オキサゾスルフィル配合。抵抗性ウンカ類にも高い効果と長期残効を示します。

新規いもち成分配合でいもちに強い!

新規いもち成分ブーン (ジクロベンチアゾクス) 配合。稲の病害抵抗性を誘導することでいもち病に優れた効果を示します。

水稲への安全性が高い!

安全性に優れ、播種時から移植当日まで使用可能です。